

大町労山だより



VOL.6月
2023 6.15
大町勤労者山の会

大町勤労者山の会		予 定 表	
6月	4日（日）	針の木雪渓、蓮華岳	会山行
	4日（日）	クリーンハイク	
	7日（水）	定例会	
	6日～7日	組織担当者会議（福岡）	全国連盟
	14日（水）	戸倉山	
	17日～18日	自然保護担当者会議（埼玉）	全国連盟
	20日（火）	定例会	
	25日（日）	コンパニオンレスキュー講習会	県連盟
7月	8日～9日	全国救助技術交流集会	全国連盟
	9日（日）	三役担当会議	
8月		沢登り講習会	県連盟

田淵記念館(6:30)→三才山經由佐久南 IC→八千穂高原 IC→R141
→南相木村馬越峠登山口→立原高原下山口(車デポ)→
登山口発(9:30)→(10:30)天狗山山頂→(11:45)垣越山→(12:30)男山山頂
男山発(13:20)→(14:05)垣越山→(14:15)立原高原方面分岐→(15:05)立原高原下山口
滝見の湯(500円)→中華料理〈上手〉(夕食)→田淵記念館

(参加者) 栄さん、じゅんちゃん、秀さん、有岡、五十畑、平林、尾形、EIEI、北澤、菅順、文ちゃん、いくババ

暑くなく快適な山行でした。12人の大所帯でロープが有る岩場も通りましたが、山行時間はほぼ予定通りでした。

花が素晴らしいとの感想を見て楽しみにしていましたが期待以上の花また花。ミツバツツジとアズマシャクナゲの共演でした。途切れることのないピンクの花色に歓喜し、カメラに納めました。岩場は少し緊張しましたが、ロープもあり通過することが出来ました。

頂上からは遠くの山容、富士山が望め高度感をも楽しめました。何組かのロープを背負った登山者に行き合いクライミングの山だと知りました。細やかな配慮を含め、この花の季節に計画を立てていただいたT夫妻に感謝です。(いくババ)

ヒヤリはっ

特にありませんが、大人数で岩場の通過も有りヘルメットを着用をして行ったことは良かったと思います。



(参加者の感想)

南相木村の天狗山、男山を縦走して来た。企画立案したら、12名の参加者があり、びっくり!! 知らなかったと大勢集まったが、私は3回目! 展望と変化ある登山道、2座登れる事が魅力的そこに石楠花もトウゴクミツバツツジの群落のおまけ付き。今年は当たり年とか。それはそれは見事!! 縦走路は花のトンネルだった…12名という人数に神経も使ったが、花に癒されて無事登山を終えた。帰りは12人入れる食堂探して何とか見つけて山も、お腹も満腹で家路に!! 花の見事さに LINE に写真が飛びかい展覧会のように、参加者の満足感が伝わった山行でした。(EIEI)

昨年5月20日に登った天狗山と男山に山仲間12名で登って来た。馬越峠からの登山道は三葉ツツジやしゃくなげの花が満開で昨年とあまり日が変わらないのに、こんなに花の状態が違うのかビックリした。富士山、八ヶ岳連峰、中央アルプス、北岳等眺望出来、楽しい山行となった。帰りは滝見の湯に浸かり帰宅した(宮島)

計画して頂いた鶴川さんありがとうございました。ミツバツツジとシャクナゲが最高でしたし、ミヤマカタバミやツマトリソウ等の草花もよかったですね。(有岡)

花がこんなに歩く道、ずっとあるなんて最高の山行でした。本当にキレイ。今日行けてラッキーでした。栄さん、栄子さん、ありがとうございました。(菅順)



駐車場 6:15 → 登山口 6:20 → 7:30 大沢小屋
7:40 → 10:45 針ノ木峠 11:00 → 12:30 蓮華岳山頂
13:05 → 14:10 針ノ木峠 14:20 → 16:00 大沢小屋
16:00 → 16:50 登山口 16:50 → 16:55 駐車場

(参加者) しんじ、宮順、尾形、文ちゃん、五十畑、EIEI、浅田

2日前は大雨でしたが、当日は晴天の青空で気持ちが良い朝でした。新型コロナ感染が小康状態となり、4年ぶりに慎太郎祭が開催されるので、駐車場が混雑するのではと例年より1時間早い6:00に駐車場に着く行程としたので駐車場にはまだ余裕があった。今回の山行には、京都府連、wao 亀岡に所属する浅田さんが同行する。

大沢小屋手前の砂防堰堤を超えるといつものように雪溪があった、白馬の小日向山では、かなり残雪が少ないと感じたが、ここでは例年に比べて若干少ない程度に感じた。

7人パーティの我々のほかに慎太郎祭のスタッフや5~6人のパーティが一組、ほか2人や単独の方が数名で時間が早いせいかコロナ明けにしては思ったより登山者が少ない。ペースメーカーの尾形さんが先頭を歩き丁度良い速さで予定の15分前に峠についた。

針ノ木か蓮華か、今回はピッケル所持者が少なく雪山経験の少ない人もいたので蓮華岳に決める。山頂までは一部に残雪があるが、ほとんど雪は無くアイゼン不要。山頂で30分程度の昼食を取り下山する。

私は毎年この時期に登っているが、雪溪の上部はいつもきつく感じる。「今年ものぼれたぞ。来年も又挑戦するぞ。」の繰り返しです。今年の体力テスト合格にしました。

ヒヤリハットや危険箇所

何年か前に命拾いをした落石があったが、今回も我々の後方であった。いずれも「のど」と言われる箇所での登りで、前は向かって右斜面、今回は左斜面からだった。幸い当たることは無かったが、耳を澄ませ

時々斜面を見ながら注意して通ることが必要と改めて感じた。



山頂での集合写真



山頂での昼食



雪渓



出発時

傘山 (1542m)

2023. 5. 31 (EIEI)

松川道の駅集合 (7:00) = (7:20) 田淵記念館 = 安曇野 IC = 駒ヶ根 IC = (9:07) 飯島町町民の森登山口
 (9:10) … (10:07) 第一展望台 御嶽山分岐
 第二展望台 … 第三展望台 … (11:20) 傘山頂上 (12:10) … (12:18) 第三展望台 … (12:33) 第二展望台 …
 (12:50) 第一展望台 … (13:30) 登山口 = 温泉
 温泉 (16:00) = 夕飯 = (17:50) 駒ヶ根 IC = 安曇野 IC = (18:50) 田淵記念館 = (19:00) 松川道の駅解散

当初第一展望台から第三、頂上をピストンの予定だったが、連結ルートの表示がしっかりあったので、周回コースにすることにして、出発。

石もなく歩きやすいが、急登が続く。結局、頂上まで、急登であった。2時間ほどで頂上に着いた。頂上は、広く、よく整備されていた。駒ヶ根の町や、向かいの陣馬形山など見渡すことができ、開放感にあふれていた。

下山は、第三展望台を通り第二、第一と下山。緩やかな下りでこちらも歩きやすい。第三、第二展望台は、あまり展望は良くなかった。登山口に展望台があり、そこは、展望が、良かった。その後、労山の桃沢さんの会社、クライミングを見学、なめこの収穫体験をして、こぶしの湯、夕飯を食べて帰宅した。(菅順)





秩父山系・大菩薩嶺～小金山連嶺

2023. 5. 20-5. 21

5/20 松川自宅 17:18→上日川峠 20:08

5/21 上日川峠 5:48→(唐松尾根経由) 雷岩 7:35→大菩薩嶺 7:47→大菩薩峠 8:56→石丸峠 9:35→小金沢山 10:57→牛奥ノ雁ヶ摺腹山 11:45(昼食) 発 12:25→すずらん昆虫館バス停 13:45→(バスで上日川峠→天目🔥)→甲斐大和→勝沼 IC14:17→自宅 18:00

EIEI、さかちゃん

小金沢連嶺は大菩薩嶺～滝子山に続く稜線で通称甲州アルプス・小金沢連嶺などと呼ばれています。5/20 出発当日、私は根知の戸倉山に沖縄の山岳会の人たちを案内して登り、山頂から一足早く降りて自宅に戻り、夕方自宅を17時過ぎに出る。上日川峠にて車中泊。

5/21、早朝に出発したが、朝霧が立ち込めており幻想的な雰囲気の中を歩く。人気の山だけあって登山者は多い。稜線近くになると霧が取れて富士山が顔を出す。雷岩に荷物をデポして大菩薩嶺に行く。聞いていた通り展望はなく標柱のみ。

雷岩からの稜線は富士山を眺められるパノラマロードだ。中々前に進まず、富士山とそれに連なる南アルプスの絶景に心が奪われる。しかしながら、絶景はこの後お目にかかれずでした。雲に覆われてしまい残念！！

小金沢山は山頂が端にあり、岩場やトラバースもあり注意しながら歩く。日本一名前の長い山、牛奥ノ雁ヶ摺腹山(うしおくのがんがすりはらやま)と読む。昔、500円硬貨の富士山撮影地とか。確かに景色は良い。ちょっとだけ富士山が顔を出す。そこから下山してバスで上日川Pに戻り、甲斐大和方面から自宅に帰る。(EIEI)

ヒヤリハット 特になし



高瀬川上流・湯俣（県連自然保護学習講座）

2023. 5. 20

5月20日 車止め 7:35→8:00 名無小屋 8:15 →9:40 湯俣山荘 9:50→10:00 テン場 10:40→伊藤新道
途中まで往復

5月21日 テン場 10:00→11:30 名無小屋 11:45→12:15 車止め

(しんじ)

県連自然保護委員会主催で毎年行われている高瀬川上流・湯俣での自然学習会に参加した。大町からは日帰りの尾形さんと宿泊の谷口の 2 名で少しさみしい人数だった。他には「まみくとい山の会」から 8 名。

上小山の会 2 名、駒ヶ根山岳会 2 名、山の子 1 名の総勢 15 名でした。

七倉ダムを予定通り 7 時に出発。高瀬ダムへの土砂の堆砂が進んでいるのと、対岸に石楠花が広く咲いている所があったのが以前に参加した時と違った景色です。三俣山荘の工事も順調に進んでおり、当日はオーナーの圭さんと船橋労山の〇〇さんが壁の塗り替え作業中でしたが、手を休めて状況を話してくれました。山荘は秋の紅葉シーズンに合わせて 9 月 1 日オープン予定との事です。今度は小屋に泊まってみたいな？

晴嵐荘への橋が壊れているので、東電の取水口少し下流右岸側の広場(河原)にテントを張り、噴湯丘と伊藤新道を見に行く。噴湯丘には水量が多くて渡れなかったが現在の噴湯丘と古い噴湯丘を見たりして第一吊橋に向け歩くが、少し手前のきつくなってきたところでリタイヤ組が出たので一部を除き引き返す。あとは「お楽しみの夕食と交流会」です。

焚火を囲みながら、野草調査で採取したタラの芽、コシアブラ、ウド、うるい、ブドウの芽、ユキザサなどの天ぷらやお浸しなどを食べながら自己紹介、各会の状況や高瀬の自然、ダムの役割、などを喋りながら・飲みながらいつの間にかテントの中で寝ていました。

翌日は、夜露でぬれたテントが天日で乾くまでゆっくりして 10:00 にテントを後にし、三俣山荘に挨拶をして往路を引き返し、七倉の駐車場で解散のあいさつをして全行程を終了しました。天気も良くて楽しい学習会でした。



湯俣手前から槍



伊藤圭さんと
船橋 労山 〇〇



工事中の湯俣山荘



夕食の準備



噴湯丘



30分で作った投石の道

乗鞍岳山スキー

2023. 5. 27 横田

6:10 着→8:30 出発→9:20 肩の小屋(便所)→11:00 剣ヶ峰→11:25 肩の小屋便所→12:00 摩利支天付近 →もう一度登り返し→13:15 バス出発→14:05 駐車場

乗鞍岳に今シーズン初めて行って来た。5/27 からは位ヶ原ではなく肩の小屋(便所)までバスがいく。約40分で剣ヶ峰に到着。一回滑り降りて、もう一回は摩利支天の方へ。

13:15のバス出発に間に合うようもう一回モーグルしている斜面を登り返した。

肩の小屋(便所)から位ヶ原山荘は藪が出て雪が繋がっているのか分からなかった。

乗鞍観光センターからバスの往復は3400円になっています。

観光センターの向かいの湯けむり館は硫黄の匂いがきつい白骨温泉と同様なお湯で、最後きれいにシャワーを浴びたが、服に匂いがつくほどの温泉です。

・ヒヤリハット : 特になし、スキー靴の春用スカルパFILT靴が壊れて交換して頂いた。

大切に使うようにもう1つフィッシャーのトラヴァースを購入した。なかなか良い



安曇野だより🍏りんごの摘花・摘果のお話

(いくパパ)

今年は例年より開花が早く私の行っている農園では4月25日から摘花が始まっています。現在は摘果と言って実になったものの中から、＜収穫用の残す一果＞以外を摘み取る作業をしています。りんごの花は真ん中の一番花の周りをその後で咲く花がぐるっと取り囲むように咲きます。残念ながら今年が一番花の後に霜がきてしまい一番花(中央の最初に咲く花)がダメになってしまいました。周りの花(実)の中から良いものを選んで一つにする作業(摘果)をしています。

品種によっては一番花以外だと表面にダメージ(サビ)が出てしまい等級が落ちてしまいます。自然が相手なので仕方がないとは言え大変だなと思います。

りんごの花見頃は、4月下旬から5月初めにかけてです。とても可憐な白の花(咲き始めはピンク)です。摘花はその花を摘んでしまうので、なんとも可哀そうな作業です。現在は大きなもので大飴玉位に育っています。春の霜、夏の日焼け、秋の台風、虫に鳥に病気等。収穫までは様々な心配事が続きます。この先無事に育つと思いつつ作業を続けています。

摘果も進んで中々5つ揃っている個体が無かったので遅くなりました。

全体のイメージはそんなところですよ。

園主さんにお聞きしたら、中心花を含め5個の花が咲くそうです。今摘果している「つがる」は時期になると自ずから必要な果実を残して後は落ちるそうです。「ふじ」はそれが無いので、摘果剤で落とすそうです。摘果はその残った実から収穫用の一果を残す作業です。

昨年伸びた枝にはこれでもかと花が沢山付きますが、枝先の一果を残して全部取ってしまいます。



* 機関紙担当からお願い；山行報告はできるだけ写真を付けて五十畑(shigisohata@mac.com または LINE)まで送ってください。地域の近況報告も歓迎します。